

令和8年4月1日から RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種が始まります

RSウイルス感染症とは

RSウイルス感染症は、RSウイルスに感染することによって起きる呼吸器の感染症です。
生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。
症状は、発熱、鼻汁などの軽い風邪の症状から重い肺炎まで様々です。特に生後6か月以内にRSウイルスに感染した場合は、細気管支炎や肺炎など重症化する場合があります。

RSウイルス母子免疫ワクチンについて

妊婦さんが接種することで、お母さんの体内で抗体が作られ胎盤を通じて赤ちゃんに移行し、生後数か月間の赤ちゃんのRSウイルス感染を予防するワクチンです。



定期接種について

*** 令和8年4月1日 開始 ***

令和8年3月31日までの接種は
任意接種となり、全額自費になります。

対象者	松本市に住民登録のある <u>妊娠28週0日から36週6日</u> の妊婦
接種ワクチン	組換えRSウイルスワクチン「アプリスボ筋注用」0.5mlを1回筋肉内注射
接種費用	無料
実施医療機関	令和8年3月頃公開予定



予診票兼接種券を郵送します

対象の方へは、**令和8年3月下旬**に住民票の住所へ予診票兼接種券を送付します。県外で予防接種をご希望の場合は、事前の申請が必要です。
詳しくは、松本市ホームページをご覧ください。(令和8年2月頃公開予定)

松本市ホームページ「こどもの予防接種」



【RS ウイルスワクチン接種に関するQ & A】

RSウイルス感染症について

Q. RSウイルスはどのように感染しますか？

A. 接触感染と飛沫感染で広がります。接触感染は、RS ウイルスに感染している人との直接の接触や、感染者が触れたことによりウイルスがついた手指や物品（ドアノブ、机、いす、コップ、おもちゃ等）を触ったり、なめたりすることで感染します。また、飛沫感染は、RS ウイルスに感染している人が咳やくしゃみなどをした際に口から飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことにより感染します。学校や保育所・幼稚園等で RS ウイルスに感染する例が多くみられるため、小児を通じて、家庭内で感染が拡大する可能性もあります。

Q. RSウイルスの発生状況はどのような状況ですか？

A. RS ウイルス感染症は、近年は夏から増加傾向となり秋にピークがみられていました。一方、2021年以降は春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークがみられています。



ワクチンについて

Q. 妊娠 27 週 6 日以前または妊娠 37 週 0 日以降の接種はできますか？

A. 定期接種として無料で接種できるのは、妊娠28週0日～36 週6日の間です。その期間以外での接種は、定期接種と認められず全額自費（30,000 円～35,000 円程度）となります。

Q. ワクチン接種してから、胎児に抗体が移行するまで、どのくらいの期間がかかりますか？

A. 接種後、14 日以内に出生した場合、お母さんから赤ちゃんへの抗体移行が不十分になり、ワクチンの効果が確立されていません。妊娠39週までに妊娠終了を予定している場合は、その14日前までに接種を完了させることが望ましいです。



接種方法について

Q. 松本市以外で接種する場合はどうしたらよいですか？

A. <長野県内で接種する場合>

「長野県予防接種相互乗り入れ制度」に参加している医療機関で接種が可能です。松本市の予診票兼接種券はそのまま使用できます。

<長野県外で接種する場合>

接種前に申請が必要です。市から「実施依頼書」を送付します。接種費用は一旦全額実費でお支払いください。接種から1年以内に申請していただくことで、上限額まで払い戻しをします。

接種前の申請は、令和8年3月23日以降に受付開始予定です。

「市外での接種」



Q. 松本市外へ住民票を移す予定があります。松本市の予診票兼接種券は使えますか？

A. 接種日に松本市に住民登録がない場合は、松本市発行の予診票兼接種券は使用できません。

新住所地に転出した日以降に松本市の予診票兼接種券で接種した場合、全額自費（30,000 円～35,000 円程度）となります。接種方法については、転出先の住民票所在地へお問い合わせください。